

# ながの労福協

長野県労働者福祉協議会

〒380-8710

長野市立町978-2 労済会館内

TEL026-232-6667 FAX026-232-6672

E-mail n-rofuku@athena.ocn.ne.jp

http://nagano.rofuku.net/

発行人 近藤 光

編集人 原田 美登

第230号2005年6月29日



—長島忠美氏の講演に耳を傾ける参加者—

## 山古志村には地域コミュニティがあつた！ 旧村長の長島忠美氏は訴える！！ —自然災害シンポジウムから—

昨年は自然災害の多発した年として、記憶に新しいものがあります。そこで5月19日(木)、連合長野・県経営者協会・県労福協の主催によって「自然災害シンポジウム」が松本市の「まつもと市民・芸術館」で開催されました。当日は松本市民を始め、県下各地から1000名余の人々が参加しました。

シンポジウムは、信大理学部の小坂共栄教授(構造地質学専攻)による「長野県の地質構造と想定される地震規模」と題する基調講演に続き、県危機管理室の松本有司消防防災課長から「長野県地域防災計画について」の説明を受けました。

午後は昨年大地震に見舞われた旧山古志村(現長岡市)の村長として被災地から実情を発信されている長島忠美氏(長岡市復興管理監)から「新潟中越大地震の経験と教訓について」生々しい体験が語られ、参加者に深い感銘を与えました。今号では「長島講演」の要旨を紹介します。

先ずはじめに、私達は厳しい状況に置かれましたが長野県をはじめ市町村の皆さん、県民の皆さん、そして連合の皆さんから大変大きな優しさをいただきました。そのことが私達に立ち上がる勇気を与え、今日までこれたことにこの場を借りて心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

### 村全域で全てが寸断・孤立

10月23日中山間地を襲った中越地震は一瞬にしてインフラを奪ってしまいました。

丁度私は10分ほど前に自宅に帰っていたところでした。自宅の居間でいつものようにたばこに火を付けてテレビのスイッ

チを入れたところでした。

オーバーでなく1メートル程も持ち上げられ、次の瞬間テレビが顔の前にとんで、部屋の中のとありとあらゆる物が落ちてきました。はじめ地震だとは思わなくて、台風で地盤がゆるんで土砂崩れの中にいるんだな一と思っていました。家族に声をかけ、火の始末をして外に出て見ると、想像を遙かに超える地震だということが解りました。道路はめくり上がり、亀裂が走り、池も亀裂が入り水がザーと音をたてて流れ、近所の人と大変なことが起きたと言っているときに1回目の大きな余震がありました。

揺れる家を見て想像を遙かに超える災害が襲ったことを悟り覚悟を決めて役場に行くと言って家を出ました。

集落の人たちに「情報を集め対策を練るために役場へ行く。気を付けるように」と言って軽トラックで役場に向かいました。4つの道路を乗り継いで行くところが、すべての道で崩落や陥没で役場へは車では行けませんでした。一旦家へ帰り区長さんに集落のみなさん避難してくださいとお願ひし、徒歩で向かいました。夜暗闇の中で、道路が無くなり、土石流が渦巻いている中で危険だと判断し、外に情報を発信することを優先しました。しかしその時点で電

気も電話も道路もすべて失われただけでなく唯一の携帯の電波塔も失われていることが解りました。携帯電話のつながる地点を探し電話がはじめて外部に通じたのは2時間以上経過してからのことでした。

その後1時間経って県の対策本部につながり、県へは山古志村の報告は何も入っていないことを知りました。

頼みの綱であった、非常防災無線も使えない状態となり、とにかく電話をかけまくりました。この時点で村外に出ていて村内に帰れない職員が数人いることに気が付きました。その中に管理職がいたので村内に帰らずに村外で職員と連絡を取って県の振興局に駆け込め。そこで私の連絡を待つてほしいと指示をしました。

このことが住民の避難をスムーズに運んだことに繋がりました。

### 村長と職員3人で災害対策室設置

翌朝、白みはじめた時に、歩いて役場へ向かいましたが、被害は想像を超える大災害でありました。

県知事から電話が入り、「なにが必要ですか」ときかれ、山古志村は壊滅状態。自衛隊のヘリコプターを要請したところで、携帯は電波の状態が悪く切れてしまいました。

ヘリポートは役場の駐車場を想定しましたが、役場の見える山古志中学校へ来たときに信じられない光景を目にしました。山崩れで、その下に20数戸の集落すべてあつて、家がぶら下がっ

ており、そのとき村民の命はどうなんだ、本当に大丈夫なのか、その情報が入らない焦りを感じました。中学校にたどり着いて役場の方を見ると途中の道路の崩壊が激しく役場へ向かうことを断念し、山古志中学校の校庭に石灰を民家より借りて、ヘリポートを書きました。まもなく自衛隊のヘリコプターが到着し、積んできた無線で外部と連絡がとれるようになりました。命からがら山を越えてきてくれる村民や数人の職員、ヘリコプターの情報を総合すると、山古志村は外部からの道路がすべて寸断されて孤立していることが解りました。

山古志村は14集落で構成しています。が、集落のすべてが孤立していることが解りました。自衛隊機が来る少し前、グラウンドにいる村長と職員3人で災害対策本部を設置せざるを得ない状況であり、とにかく村民の命の情報を入れなければと思いました。

ヘリにのせてもらい、上空からの視察を考えましたが人が人の搬送のため止め、上空から見た情報を元に「住民の生命を守るためになにが必要か」村長として常々口にはしていたが実感として突きつけられました。

### 避難命令と「コミュニケーション」

本当はしたくなかった、してはならない決断であったかもしれないがすべての村民に「大切にしてきた財産、生活を捨てて避難してくれ」と言いました。

満足な情報もないままその決断に従

つてくれた村民に、大きな責任の所在を感じました。

最後にヘリで村をあとにするときに「村を捨てるのではない。必ず緑の村を取り戻す」と誓いました。

避難後初めて言ったことは、村民の前に立ち「情報を伝えられないままであつたけれども、村民の皆さんよくここまで避難してくれた。最善の努力はする。出来るだけ皆さんのお気持ちに向き合つて頑張ります」と約束しました。

村全体のことを考えれば、私が決断することが大きな力にならなければいけないと思いました。各集落をコミュニティとしてしたとき、そこは小さな自治体です。孤立して切羽詰まった時、だれかが頼りにされる。そのことを受けとめて責任を持つてその住民を誘導できる、その地域に人材が居たことが被害を最小限にとどめました。

### 非常時に何が必要か

非常時にどんなことが必要かと問われました。確かに無線もヘリも連絡手段も必要だが、孤立したその場で自分で判断し、その人達のなにを守るかを判断できる人材をつくるのが最大の事だろうと話しました。

人間は責任の大きさを測り判断を躊躇することがあります。でもその場に立たされた人たちの命を守ることを最優先にして判断し、最善の努力をしたことを誰もせめないと思えます。

非常時にそのように判断できる人材育成を、これからも災害がないことを祈

りながら、もしあつたときはそのような人材が一番必要になるのではないかとあらためて思っています。

私達は、避難してからヘリが到着する順に仮設住宅へ入りましたが、3日くらいたつて、夕方避難所を回つてみると、ある集落の夕食の光景にでありました。

全員が布団を両脇によけて、真ん中に新聞紙を敷いてそこに自衛隊につくつていただいた夕食をおいて、全員で食事をとつて話をしていました。

あの悲惨の中で集落コミュニティを、集落同士で話し合うことを取り戻してくれたなと思つたのはそのときです。集落がやはり気持ちをひとつにすることこそが、あの甚大な災害の中で場合によってはみんなで助け合つて帰る近道になるのではないかなと思つました。そこで集落毎に仮設住宅を建て、近所同士で暮らしており、私もそのなかにいていただいで、仮設の中で狭いながらも楽しい我が家を実感しています。

### 仮設がきつぽつと一息

私は、村民に「頑張つてくれ」、「我慢してくれ」と言つて来ました。それが間違いだと気が付くまでに2〜3週間かかりました。切羽詰まって避難してきた人達に「目標示さず頑張れ」とはいえない。そののち、村民の前に立つときは「仮設住宅で家族そろつてゆつくりしてほしい。私は3月までに皆さんの希望の繋がるような復興計画を立てたい。そのときまで待つてほしい」



と伝えました。高齢者が多いものから、高齢者の前に立って「心の叫びを聞かせてほしい。夜中でも私が飛んできます」と話をしました。

そしたら逆に住民から励まされる場面が一杯出てきました。一時帰宅の時のある地区は未だ水の中にあると、高齡のおばあちゃんが、行き帰り2時間くらい歩くが、リュックサックの中に自分の荷物だけ持ってくればいいのに「村長元気ないようだから私の掘った山芋を食べてください」と言って山道を持ってきてくれました。

ある村民は避難してまもなく、缶ビールと漬け物を買って持ってきて、「疲れているだろうからこれを呑んで休んでください」といって気持ちを届けてくれました。つらい生活をしているにも拘わらず、そう言ってくれる村民の気持ちを考えるとき村へ帰れるまで山芋も缶ビールも大切にしまっていました。

### 覚悟を決めた、「帰ろう山古志」

大事なことは覚悟を決めることだと思ひ、私は、私のすべてを村へ帰ることのためにかける覚悟を決めました。一方で、市町村合併の風の中地方の時代とは言われてきたけれど、私どものような過疎地・豪雪地帯・中山間地であるだけに、ここへ戻ることが許されるかと率直にそう思いました。

しかし、中山間地に暮らす私達は、自分たちの地域や暮らしに誇りを持っていました。「私達のふるさとはいいと

ころだ」「大好きだ」「あそこへ帰りたい」と口に出して言ってくれるようになりました。私は「帰ろう山古志に」、これがスローガンだという風に村民とともに訴えました。避難所の中で、長野県という腕章をつけたり、連合という腕章をつけたり夜を徹して私達の世話をしてくれ、そしてその人達が私達の気持ちを全国に発信してくれました。全国の皆さんが、中山間地でも生活を取り戻させてあげてください。世論づくりをしてください。必ず100年掛かっても200年掛かっても私は、日本のふるさととして日本の国に必要な温かさとしてお返しすることをお約束しました。

公で直す部分、自分たちが直す部分、そして自然とともに暮らし解けることは、自然が持つ自分の力でなおす力を信じていくことだと思ひます。大それた事を言うつもりはありませんが自然とともに暮らすと言うことはどういうことなのか、自然に抱かれて、自然を見守って暮らすことだと思ひます。

### 住民の顔と集落機能再生団地

災害の中でつくづく感じたことは、贅沢な暮らしを望むものではありませんし、そして必要以上の便利さを追求するつもりもありません。農村の暮らしが取り戻したいだけですと今、村民にこういつています。

「普段そんなに仲がいいと思わなかったけれど、こうなると皆さんのまとまりはすごいね」

これはやはり長い歴史の中で、地域を支えてきたということが力だろうと思ひます。ただ災害復興を考えたときに残念ながら、誰の責任でもないけれども災害は平等ではありませんでした。そして普段の生活も平等ではありません。その人たちの気持ちをひとつにしないでそして地域を再生するというのが私の願ひです。国が防災移転集団事業という名前の移転事業を行っていました。私は、私どもの地域は「集団移転」という言葉は使わないでほしい。集団移転という言葉を使った途端に村を捨てるようなイメージで捉えられる。

私は、集落を再生する集落機能再生団地としてほしと言っています。人間が切羽詰まったときに、言葉ひとつが大きく影響することがあります。表情ひとつが大きく影響することがあります。できるだけ表情も言葉もやさしく住民の側に立った言葉で伝えなければいけないだろうなと思ひました。同時に厳しい災害の中で住民に顔が見えるということが、非常に重要だということが解りました。

全国の首長は災害のときにはいろいろな意見があるかもしれないけども、住民の顔が見えるところに立つべきだというのが私の率直なこの災害を通じての感想です。そのことにより絆が生まれ、信頼が生まれるとしたら、地域を復興する上で、そのことが大きな力となるだろうと思ひます。

でも避難生活が長引くにつれ焦りが出てきたり、不安が広がっていること

も事実です。高齢者の方からは置き去りにされるのではないかと心配があり、住宅をはじめとした生活再建は特に高齢者にとっては厳しいものがあります。とくに中山間地の、生産性の低いところの高齢者は厳しいと思ひます。

### 持ち家を前面に

私は復興プランの中であくまで持ち家意識をもった自立再建を目指したいと表明しました。自分たちが生甲斐をもってあそこに立ち、自分たちで生活を支えることをして欲しいと思ひます。私はとんでもない話だと思ひつつ、800万円住宅を作ろうと思ひています。豪雪地で雪に耐えられる高齢者達の過ごせる住宅を作りたいと思ひています。その数字はどこからきた数字かと言われれば根拠はありませんが、80で800万円だと言ひます。

今、私どもが全国の皆さんからいただいた義援金、国・県の制度で使えるお金は多分そのくらいだろう。そのくらいの額で住宅を再建することができれば高齢者にとっても何とか生活復旧ができるのではないかなと思ひました。

### 歴史と文化と自治

山古志村は、現在長岡市山古志地域となりましたが、自主、自立、自分達の力で出来ることは自分達でやろうという、自治の精神だけは持ちつづけてきたつもりです。

錦鯉という特産品を、闘牛という文化をそれこそ500年も600年も続けてこれたのは、ある意味、中山間地の特性の中で、交通があまり便利でなかったために、往き来のできない生活の中で、私達が長い間、培った生活の知恵、あるいは自分達を守る手段であったのかもしれない。今、私達が取り返そうとする故郷は、自分達が長い間かけて守ってきた生活だけではなく、過去50年間に私達が望んで出来なかつたことを取り戻そう、若い人たちが希望もてる地域にこの際直してしまおう、そんな意欲を今は持っています。

災害で全てをなくした私達は、白いキャンパスに思い思いの絵を描こうとの意思を示したつもりです。災害復興のキーワード、それは「住民参加」です。確かに行政の力がなければ何もできません。でもその中に住民の意識を反映させ、住民を参加させることで災害復興を発展へと考えられる最大のこ

とだと思えます。気持ちの通わない災害復興は、形ではありませぬ。私は形より気持ちのこもつた災害復興を成し遂げたい。

### 子供たちにへりで村を見せる

私は、今まで、「自分が村長として何かを人のために」というふうにいる上がついていかもせぬ。この災害を通じて私ができることは、私が守ろうという人たち、そしてそれを取り巻く人たちから励ましていただいたから

出来たということがよく解りました。避難してきて子供たちのことが少し心配になりました。避難所を回っていて、いつも私が声をかけると、大声で返事をしてくれる子供たちが少しづつむき加減になっていました。私は子供たちにはあの悲しい現実を見せる前にそつと直して返して上げたいと思つていましたが、その様子を見て、あの村の様子を子供たちに見てもらおうと考えました。

へりに全員の児童・生徒を乗せていただいで上空から全域の村の状況を見てもらいました。やはり全員が涙を流し、私はそれを見て何を感じろとか、どうしろとかにも言うつもりもなかつたし、言いませんでした。

それから1週間ほど経つたとき、やはり避難所を回つたとき子供から「こんにちは。村長さん頑張つてね」という言葉が返ってきました。私はこの言葉聞いて、子供たちは悲しい現実を見ましたが、でも希望を見い出そうとしていくという風に受け止めました。

### 中学校の卒業式と人材育成

3月9日に、私どもの中学校の卒業式が行われました。私たちの中学校は卒業生が少なかったため、壇上でひとりひとり卒業証書をもらつて、在校生や、父兄や私たちに向かつて、生徒たちが一言づつ、3年間の感想を述べます。全ての子供たちが壇上で、「村は悲しく姿を変えたけれども、この村に生れて良かった。この学校で良かった。この

友達で良かった。そして全国の皆さんありがとうございました」という言葉が全ての子供たちから聞かれました。このとき、子供たちの姿に涙を流しました。私にお祝いの言葉をと言われましたが、私には子供たちに伝える言葉が思いつきませんでした。私はただ「悲惨な状況の中で希望を失わずにいてくれた、凛とした皆さんの姿に感動しています。皆さんの流した涙だけは絶対に無駄にしません」と約束するのが精一杯でした。

卒業生を一人づつ送るときに私は「頑張つてくれ」という言葉はかけられ「ありがとう。元気で」という声をかけました。私はこの希望を失わずにいてくれた子供たちから大きな勇気をもたらしていたのだな。本当に挨拶ひとつを通じて、私に勇気を与えてくれていたんだなと本当にそのとき実感をしました。

災害というのは素直になるもんだな。素直に涙を流すもんだな。そして素直にお願いをするもんだな。人間の気持ちを素直にして、そして優しくすることが、本当の強さを生むもんだな。今はそんな風に考えています。

情勢として切羽詰まつたとき、皆さんを守るために何をやってやるか、なにか出来るか、今も私自身、答えが見つかりません。でも間違ひなく言えることは、どんな非常時でも、自分の判断で住民をまもるために立ち上がることで、責任を踏まえた勇気の

持てる人材をいかに育成していくか、これが大切なことだと思つています。

### 優しさが勇気を与える

2000人の村が、多分、費用対効果からいえば、帰らないほうがいいと言われるんだと思つています。でも私達は93%の人が望んで、「あの地へ帰してほしい」「何でもやる」と、応援をいただきます。帰ることをお許しいただいたと思つています。

最後に一つだけ皆さんに改めてお礼申し上げ、お願いしたいことがあります。本当に、優しいという気持ちが勇気を与えてくれました。皆さんの温かな優しさが私達に勇気を奮い立たせてくれました。絶望から今日までこれたのは皆さんのおかげです。でも今私たちは皆さんに何もお返しすることができません。お願いです。見守つてくださいます。そして必ず私達が帰つたとき、できれば来ていただきたい。そして私たちが取り戻した中山間地の村を見てほしい。そしてその地で私達は皆さんにありがとうございましたと言えることが出来る。私達の今の一番大きな希望です。

その日を信じて頑張りたいと思つています。住民には、「信じてください。信じられなくなつたら声をかけてください。必ずやります。」と言つてつづいてください。本当に今日までこれたご支援に心から感謝申し上げます。つたない私の話を終わります。

# ちよこちゃん待って！

## 未然防止は金利チェックから！

### 『グレーゾーン』

『グレーゾーン』って聞いたことありますか？『灰色の領域』という意味ですから、非常にいかがわしい響きがあります。これは、お金を借りるときの金利に関係する言葉です。

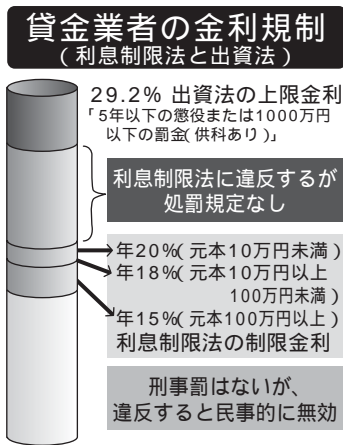
金利を規制する法律としては、出資法と利息制限法という2つの法律があります。利息制限法は、法外な高金利を取ることを禁じ、法的に上限金利を定めています。元本100万円以上の融資への金利は15%以内、元本10万円以上100万円未満の融資への金利は18%以内、元本10万円未満の年利は20%以下というのが利息制限法の上限の金利です。

おかしいと思いませんか？テレビの宣伝の下に出ている金利！街角で配っているティッシュに載っている金利！結構この金利以上の金利が書いてあり、利息制限法上は違法な金利なのです。

しかし、もう一つ『出資法』という法律があります。これは、利息の上限違反に刑罰を科す法律です。80



年代の「サラ金地獄」を経て、業者の行き過ぎた取立てや貸付を規制する「貸金業規制法」の制定がされる前は109・5%が上限金利でした。それ以降徐々に上限金利は下げられ、「目玉売れ、腎臓売れ」という取立てで問題になった「商工ローン」事件で29・0%に引下げられるまで、40・004%が上限金利となっていました。



では「利息制限法」と「出資法」の違いは何なのでしょう？

『出資法』の上限金利を違反した融資をすると5年以上の懲役、もしくは1000万円以下の罰金などの

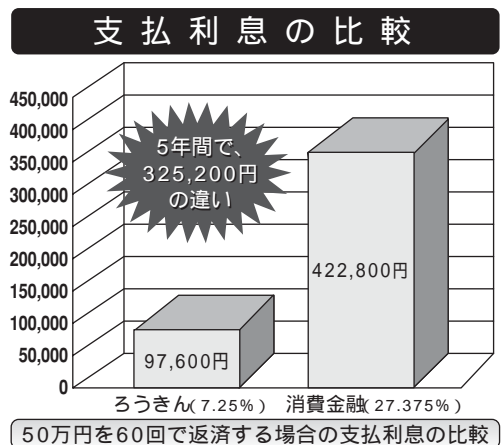
刑罰が科されます。しかし、『利息制限法』に違反しても罰則はありません。そのため、『利息制限法』と『出資法』の間で大多数の消費者金融業者は融資を行っています。この罰則はないが法律違反の領域の金利で、行われる融資を『グレーゾーン』と呼んでいます。

### 利息制限法違反は

では、利息制限法を越えた金利での貸付は有効でしょうか？貸付そのものは有効ですが、金利制限を超えたものは無効となり、払いすぎた分は元本は充当するか、返還を求めることが出来ます。例外的にこれが認められない場合(みなし弁済規定)もあります。利息制限法違反を超える金利は違法だということを認識してください。

### 金利の違いは

金利が違うといっても、ピンとこないのが本当のところですね。では、お金を借りて金利が違えば、利息はどれくらい違うのでしょうか？右下の図は50万円をろうきんのミニット(7・25%)と、消費者金融(27・375%)で借りて、5年間で返した場合の利息額の違いを示しています。



借りた50万円に対して32万円以上利息差があるのがわかりますか？金利の違いはお金の違いなのです。

### あなたが人質

いま、最も高い金利が許されているのは質屋の109・5%ですが、「質草」という担保があり、その価値以上の融資は受けられず、返済が滞れば質草は流れます。しかし、カードを使ったキャッシングや、消費者金融の無人機では、なんの担保もなく簡単な審査だけで手軽に借金が出来ます。そのかわり「無担保」には、高金利というリスクが上乘せされています。あなたが自身が「質草」ならぬ「人質」になっているのです。流されたら…





固定金利10年以内

年 **1.98%**

- 別途保証料(年0.70%~年1.40%)が必要となります。
- 表示金利は2005年4月25日現在です。
- 保証機関が(社)日本労働者信用基金協会の場合、団体信用生命保険を付保することができますので、窓口へお尋ねください。

ろうきんでは、十月三十一日まで、「カーローン車天狗α」キャンペーンを実施している。

今回のキャンペーンにおいては、多くの勤労者の皆さんにとって有利な制度となるため、ご利用者一律、なんと1%台の金利設定を実施している。

また、来店せずに、インターネット・ホームページやFAX・郵送経由で仮審査ができるようになり、大幅に利便性が上がったことも嬉しい。

みんなにお得！魅力がグリーンとプラスα

ろうきん「カーローン車天狗α」

キャンペーン実施中！！

**カーローン「車天狗α」商品内容**

【ご融資金額】 最高500万円      **キャンペーン期間**

【ご返済期間】 最長10年      2005年 **4/25** ▶ **10/31**

【ご返済方法】 毎月返済またはボーナス併用返済

【担保・保証人】 原則不要

※店頭にて説明書をご用意しております。

**URL** FAXまたは、インターネット・ホームページから、車天狗αの仮申込みができます。

<http://www.nagano-rokin.co.jp/>

用途は、車やバイクの購入、修理、免許取得費用、他行やディーラーの自動車ローンの借換え費用など(事業用車輛を除く)幅広く利用できる。

魅力いっぱい「カーローン車天狗α」見過ごすことはない。

フリーローン

**お手軽くん**

パート・契約社員の方もOK!

お使いみち自由だから、あなたのライフプランにあわせてバックアップいたします。

**お使いみち**

**自由** (事業性資金・投機的資金・負債整理資金は除く)

**金利**

**固定金利 年7.6%** (保証料込) 表示金利は2005年4月1日現在です

**ご利用いただける方** (未成年者の方は除きます)

会員労働組合等のある企業にお勤めの方 (パート・契約社員を含む)	一般勤労者の方 (パート・契約社員を含む)
-------------------------------------	--------------------------

**ご融資金額**

<b>最高 300万円</b> (パート・契約社員の方は最高100万円)	<b>最高 100万円</b> (パート・契約社員の方は最高50万円)
---	--

**ご返済期間**

<b>最長 10年</b>	<b>最長 5年</b>
---------------	--------------

**ご返済方法**

毎月返済または毎月・ボーナス併用返済

**担保・保証人**

原則不要

※審査の結果、ご希望にそえない場合もございます。予めご了承ください。 ※店頭にて説明書をご用意しております。

インターネット・ホームページから仮申込みができます。

<http://www.nagano-rokin.co.jp/>

こちらも見逃さないぞ

**速い！簡単！便利！**

**フリーローン「お手軽くん」**

**好評受付中！**

四月一日から新発売された「速い！簡単！便利！」がキャッチフレーズのフリーローン「お手軽くん」は勤労者の方なら誰でも使いみち自由(ただし、事業性資金・投機的資金・負債整理資金は除く)に利用できる優れたものだ。

ご融資金額は保証料込の固定金利年7.6%表示金利は二〇〇五年四月一日現在。申込みは運転免許証などの本人確認書類のみ(その他の書類が必要な場合もある)で、原則翌営業日に回答する。

また、この商品も「カーローン車天狗α」と同様に、ろうきんのインターネット・ホームページから仮申込みができる。

好評受付中、あなたの強い見方、ろうきんのフリーローン「お手軽くん」を使ってみよう。

ご相談お問合せは、お近くのろうきんまたは、フリーダイヤル0120-1919-48(受付時間午前九時から午後五時「土・日・祝日を除く」)。

### 光触媒ダイヤフラワーの効用と特徴

- ❖ 消臭 ❖ タバコやペットの気になる臭いを分解除去します。
- ❖ 殺菌効果 ❖ 細菌・雑菌を分解しますので、汚れにくく、殺菌効果があります。
- ❖ 帯電防止 ❖ 静電気を帯びにくいのでホコリが付着しにくくなっています。
- ❖ シックハウス対策 ❖ ホルムアルデヒドなどの有機物質を無差別に分解します。
- ❖ アフターケア ❖ ホコリも付着しにくい為、お手入れも簡単。水やりも不要!

☆☆今話題の光触媒ダイヤフラワーとは☆☆  
 取り扱いを開始した「住宅生協」に聞きました!

リビングダイニングや玄関などに美しく飾っておくだけで室内の臭いを取り去り、空中に浮遊する雑菌を減らす光触媒ダイヤフラワー。  
 華やかな造花に「光触媒膜コート液ダイヤコートLC80」をコーティングした、デイスプレーできる空気清浄機です。酸化チタンを塗布してあるので、光を当てる事により光触媒効果を発揮します。

Q 光だけで空気をきれいにできるのはどうしてですか?  
 A 表面にコーティングされた光触媒二酸化チタンは光(紫外線)を使って空気中の酸素や水分から、強い酸化力のある活性酸素と呼ばれる物質を生み出し、表面に吸着された汚れや細菌類・花粉・カビなどの有機物を、炭酸ガスと水に分解します。※活性酸素は表面にのみ発生し、空气中に放散されて漂うということはありません。

#### 体験話から

Iさんの場合  
 我が家は、愛犬を室内で飼っています。  
 家を閉め切った時は、ペットの臭いが気になりましたが、ダイヤコートフラワーのおかげで、臭いが気にならなくなり、愛犬と共に快適な生活を送っています。  
 Sさんの場合  
 昼間は、部屋を閉め切った毎日の生活。そんな部屋にダイヤコートフラワーを飾りました。仕事を終えて家に帰ると、部屋はすがすがしい感じがし、毎日の生活が快適です。綺麗な胡蝶蘭の造花で、部屋も明るくなりました。  
 (3)注文内容記入欄

 **長野県住宅生協**  
**0120-709-406**



〒380-0835 長野市新田町1121-1 荻野ビル1F TEL026-233-3157

## 「長野Cococoカレッジ」がオープン

大学と市民と地域が協働して運営

「Cococoカレッジ」とは、コラボレートッド(協働)、コミュニケーション(地域)、カレッジ(大学)の略。長野地域に居住の労働者・若者・主婦・学生などあらゆる市民を対象に、各種の講座・講演を開講することで、キャリアアップや自己革新・生涯学習に貢献するという目的を込めて開設され、現在、受講生や出資者を募集中だ。

- 「長野Cococoカレッジ」は、アカデミックなものから実学的なものまで含む幅広い各種の講義や講座を開講するバーチャルなカレッジとして、老若男女、学歴を問わず受講できるよう、以下の①～④の目的に貢献する講座やセミナーを開設している。
- ① 学生や若者のキャリアデザインをつくる⇨コミュニケーション講座「厚生労働省YESプログラム」、簿記講座、行政書士講座、論文文対策講座など
  - ② ビジネスパーソンとしての実践能力を磨く⇨公務員試験対策講座、TOEIC検定、国際会計学、ビジネスパソコン基礎など
  - ③ 生き生きとした暮らし方や地域づくりに関与する資格やスキルアップを目指す⇨子育て講座、自費出版講座、ハングル講座、中国語講座、暮らしと健康講座、音楽・歴史・美術学講座、外国映画を原語で楽しむ講座など
  - ④ 講師やメンター(良き助言者・導き手、親身になってサポートしてくれる人)として社会に貢献する⇨インストラクション(講師活動)トレーニング、論理力指導講師養成講座など。
- また、未就労者やフリーターの方のための就労対策講座やキャリアカウンセリングを常設している。  
 問い合わせは、長野Cococoカレッジ事務局(平日の午前10時～午後4時)まで

# 労福協マガジン

## 県労連が県労福協に!

### 5月27日(金)総会開催

第46回県労福協総会は、5月27日(金)長野市の「サンパルテ山王」で開催された。

本年は中間年でもあり活動の基調は、昨年度の方針を基本的に踏襲する。組織的にはかねてから協議を重ねていた、「長野県労働組合連合会(略称県労連)」の加盟が実現した。当面、県レベルでの活動が中心となる。

総会では活動方針に関して、3名の代議員から意見、要望が提起された。その内容は①カード事業に関する事項、②労信協の残余財産を労働者福祉事業の向上に活用、③未組織・退職者対策にリーダーシップをとるものであった。いずれも貴重な発言内容であり、今後の活動に生かしたいとの答弁がされた。本年は役員改選期ではないが、理事補充を行い吉川光彦(連合長野)、小松由人(県生協連)菅田敏夫(県労連)の3氏が理事に就任した。

(任期はいずれも1年)

又、一部規約改正も総会で承認された。

## チャリティーゴルフに57組、217名が参加

県労福協主催の「第10回チャリティーゴルフコンペ」は5月12日(木)に「長野国際CCC」で開催された。当日は、好天に恵まれ57組、217名の面々が優勝を目指した。

今回は「妙高」「黒姫」「城山」の3コーススタートのコンペとなり、コース別の表彰となった結果、優勝は宮原良裕(労金)、沢山今朝男(私鉄OB)、原武男(電機)の3氏に輝いた。

## ホームページ開設! 活動の情報発信に

県労福協のホームページが開設された。今後は本機関誌、「ほっとダイヤル」等、活動内容がリアルタイムで発信される。

アドレス <http://nagano.rofuku.net/>

# ご家族で楽しむ クロスワード

## ヨロのキー

## タテのキー

1 労金の新しい融資商品名

6 巻き毛

8 有利になるようにご機嫌を

10 これのある職場に森林にすむ小動物

12 再びプロ野球界のボスカ

15 ものまんなか

16 数え方は一足

20 直前の斜め一格前に跳ぶ駒

21 石などの表面をみがいてツヤを出すこと

22 書物の初めに入れる絵

1 ツルやコウノトリの類

2 ばらばらに崩れる

3 昔「俺が○○○○○

4 「行く」の反対

5 医療共済の○○○をもらった

7 「○○なる思い」

9 聴取者

10 入れたり、入れられ

13 ゴハンに小麦粉をまぶしてつくる懐かし

15 小麦

16 育てること

18 お坊さんの持つ○○袋

## プレゼントの応募方法

- 官製はがきに答えを書いて県労福協へ(宛先は表紙にあります)
- 労福協の機関誌に対する意見要望を何か一言。
- 住所・氏名・年齢・性別・所属団体(単組名)を忘れず。
- 正解者の中から抽選で5名の方に図書券(1000円分)をプレゼント。
- 締切り 7月30日

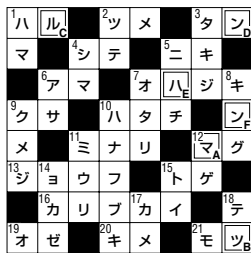
## ヒント: 八十八夜

A~Gの文字を並びかえてできる言葉が答えです。



## 前回の正解は「春爛漫」

- 当選者 (5名)(敬称略)
- 北沢 可菜 (栄村)
  - 吉野 安里 (松本市)
  - 竹腰 直夫 (大桑村)
  - 宮坂 幸子 (岡谷市)
  - 林 祐子 (飯田市)



## 立町から

「御酒」と書いて「うさぎ」と読む。純粹黒麹仕様の琉球泡盛である。沖縄には戦前まで酒屋ごとに守られてきた個性豊かな菌がたくさんあった。しかし、残念なことに3ヶ月以上に及ぶ地上戦によって、沖縄県全土でこれらの菌は全滅してしまった。しかし幸いなことに戦前に東大の教授が研究のために黒麹菌を採取して東京に持ち帰っていた。戦後疎開先から東大の研究所にこの黒麹菌は戻ったもの忘れさられていた。この間(60年以上)アンブルの中で、胞子が一種の仮死状態で保管されていたのである。

沖縄で「幻の菌」とされていたこれらの黒麹菌は98年、60年振りに復活をした。昔ながらの手作業を、踏襲し菌の味を忠実に出す努力の結果、件の泡盛が蘇ったのである。

— 全国消団連機関紙より —

先日、県勤労協の総会に出席した折、全県的な組織の衰退が訴えられていた。居住地における勤労者集団として活動を続けてきた勤労協を再評価したいと思うひとりであるが、かつて勤労協を支えた貴重な菌(?)を培養できないものだろうか。

ところで、「うさぎ」は芳醇で、まろやかで、深みのある上品な味で、一口でその味わいが体中に染み渡り、馥郁たる泡盛だといふ。

(原)